

題名	分類番	所要時間	内容
100ぼんめのサル	V-25 DVD-10	20分 カラー アニメ(一部)	九州の幸島に住む子ザルが、ふとしたキッカケからイモを洗って食べることを覚えました。砂がとれ、塩味がついておいしい——その食べ方はどんどん広がって、ついに百番目のサルにまで伝わります。すると不思議なことに、突然島中のサルたちが、そして海を隔てた他の島のサルたちも一斉にイモを洗うようになったのです。この事実から私たち人間は、愛と平和を伝え合う方法を発見できるでしょうか。
アフガニスタン・バグマン村の物語 せかいいち うつくしい ぼくの村	V-54	16分 カラー	戦乱が相次いだアフガニスタンを舞台に、その地に暮らす少年ヤモの生活を追うことで国際理解の視点から広がりのある異文化世界を展開します。
アフガニスタン難民 平和を知らない子どもたち	V-58	18分 カラー	米同時多発テロをきっかけに米英軍がアフガニスタンを攻撃。アフガニスタンは戦火に包まれました。しかし、アフガニスタンでは20年以上戦争が続き、難民となって人がパキスタンなどに逃れました。1999～2002の難民キャンプでのインタビューと資料映像で構成。
蟻の兵隊	DVD-28	101分 カラー	中国山西省で終戦を迎えた北支派遣軍の将兵2600人は中国国民党の部隊として残留。元残留兵・奥村和一が、真相を究明しようとする執念を追った衝撃のドキュメンタリー。
ある証言「シベリア捕虜収容所」	V-2	30分 カラー	1945年(昭和20)8月15日、ポツダム宣言受諾による日本軍の無条件降伏を境に、軍事捕虜として、ソビエト連邦、特に、シベリアの各地に抑留され、極寒と栄養失調によって死線をさまよい続け、九死に一生を得て祖国に引き揚げてきた、シベリア抑留体験者の証言です。
ある証言「満蒙開拓団」	V-1	30分 カラー	満蒙開拓移民として、筆舌に尽くせぬ苦難をなめ、九死に一生を得て故国に帰りついた人へは、自らが体験した「思い出したくもない過去」について、やっと、重い口を開いて語りはじめました。それは、「二度と繰り返してはならない」との私たちへのメッセージなのではないでしょうか。私たちすべての日本人にとって、この満蒙開拓の悲劇は、「絶対に忘れてはならない」民族の歴史なのです。
命のビザ	DVD-21	115分 カラー	1940年ナチスドイツが台頭するヨーロッパ、リトアニアで追い詰められていたユダヤ難民を日本通貨のビザを発行することにより、人道的行為を実行し、6000人の命を救った日本領事のドキュメンタリードラマ。
いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけんえね～	DVD-22	20分 カラー アニメ	現代の小学生寛太がおばあちゃんに原爆や戦争の話聞き、自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていく。昭和20年の広島で起こった実際の話がもとになっている。
海-いまトマホークが-	V-30	13分 カラー	核巡航ミサイル「トマホーク」が、日本に出入りする米軍の艦船に積まれています。日本の海が危ない。核巡航ミサイルとはなにか、「トマホーク」とはなにか。むずかしい解説めきで目で見てすぐに理解できる映像です。
海ゆかば	DVD-23	106分 カラー	真珠湾急襲からレイテ沖海戦までの凄惨な死闘の実相を米国防総省の未公開カラーフィルムで綴る名も無い《水漬く屍》たちへの鎮魂の記録である。戦史的にも価値の高いドキュメント。
エイジアン・ブルー-浮島丸サコン	V-35	111分 カラー	1945(昭和20)年8月24日、青森での厳しい労働から解放され、帰国の途にあった数千人の朝鮮人たちを乗せた輸送船、浮島丸が京都・舞鶴湾で爆沈しました。戦後50年を経て、在日韓国人・朝鮮人の大学講師・林は、教え子の姉妹とともに当時を知る人々の話を聞いていくうち、彼らのおかれた過酷な環境を追体験します。平安建都1200年を市民が問い直す映画を作るべく、京都市民が始めた製作支援募金運動に支えられた作品。“戦後50年を問う”という視点が貫かれ、浮島丸事件を通して加害の痛みと反戦の重さが伝わります。
煙突屋ペロ-	V-37	23分 モノクロ 影絵アニメ	トム・タム国の煙突屋ペロ-は、鳩を助けたお礼に「兵隊の出る卵」をもらいました。ペロ-は王子様の乗る汽車を壊してしまい、死刑を宣告されます。ちょうど戦争が始まり、ペロ-は「兵隊の出る卵」を使って手柄をたて、許されて田舎へ帰ることになりました。しかし、その帰り道、ペロ-の見たのは痛ましい戦いの傷跡だったのです。
大阪大空襲一焼きつくされた大阪の街-	V-8 DVD-3	35分 カラー	終戦直前、大阪が廃墟と化した米軍撮影のフィルムがあります。長い平和と繁栄の中で、私たちはともすれば平和のありがたさを忘れがちです。現在の平和が過去の戦争の大きな犠牲の上に築かれたことを思い起こし、「大阪大空襲」を永遠の平和の原点として訴えます。
大阪に残る戦争の傷あと全編	V-7	50分 カラー	大阪は1944年(昭和19)12月から1945年(昭和20)の終戦の前日までの半年間に、50回を超える空襲で一木一草残さぬ焦土と化しました。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生しい体験を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを語りかけます。第1部と第2部をまとめたものです。
大阪に残る戦争の傷あと第1部	V-5 DVD-1	30分 カラー	大阪は1944年(昭和19)12月から1945年(昭和20)の終戦の前日までの半年間に、50回を超える空襲で一木一草残さぬ焦土と化しました。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生しい体験を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを語りかけます。第1部では、主に大阪府内に残る戦争の傷あとを紹介しています。
大阪に残る戦争の傷あと第2部	V-6 DVD-2	25分 カラー	大阪は1944年(昭和19)12月から1945年(昭和20)の終戦の前日までの半年間に、50回を超える空襲で一木一草残さぬ焦土と化しました。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生しい体験を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを語りかけます。第2部では、主に大阪市内に残る戦争の傷あとを紹介しています。
おかあちゃんごめんね	V-19	26分 カラー アニメ	大阪の古い町、堺。泣き虫の絹ちゃんのは体の弱いお母さんと小さな赤ちゃんのみち坊と3人暮らし。毎晩のように続く空襲は、日本中の大きな町を焼け野原にしていきました。7月10日夜、B29の大編隊。大阪の町に降る雨のような爆弾。火の海は絹ちゃんたち親子3人にも容赦なくせまってきます。お母さんはこん身の力をふりしぼって逃げようしますが力つきて動けません。3人で一緒に逃げようとする絹ちゃん。その時、炎の中でお母さんがとった行動とは…。
おこりじぞう	V-20	28分 カラー アニメ	日本がまだ戦争をしていた1945年(昭和20)、広島に住むひろちゃん(「わらいじぞう」と呼ばれる笑い顔のお地蔵さんと大のなかよし。8月6日、その日はひろちゃんの6回目の誕生日、そして運命の日でした。柱時計が朝8時15分を指したその瞬間ピカッと光ると同時にものすごい音と大爆発。「みず…おかあさん…みずちようだい」とわらいじぞうにすがるひろちゃんの背中中、大やけどです。その時、いつにもここにこしていたわらいじぞうの顔が…。
オリエンテーション・ビデオ	V-12	7分 カラー	ピースおおさかをより理解していただくため、館内の様子などをわかりやすく紹介したビデオです。

題名	分類番	所要時間	内容
核戦争	V-16	15分 カラー アニメ	この作品は、数百年間生きてきたカエルが過去を振り返り、戦争の歴史を語る形式で進みます。源平の合戦の時代からしたいに戦死者が増大して行った事実、広島に落とされた原爆の桁外れの破壊力とその後の放射能の恐怖、現在の核兵器が使われれば、地球の生態系が破壊され、「核の冬」を招くことなどを、アニメーションの手法で分かりやすく解説し、核戦争の本質に迫ります。
核戦争後の地球第1部地球炎上 (大阪府内のみ貸し出し)	V-33	30分 カラー	全面核戦争がおこったら、あなたはどうなるか、そして日本は、地球は…。原子爆弾開発後の膨大な研究と100人を越える科学者の協力を得ると共に、最新の映像技術を駆使して、核戦争勃発後の地球と人類の姿を描いた作品。「地球炎上」では1メガトンの核弾頭が東京に落ちた時、その破壊力によって1,000万人の人たちがどんな体験をするか。
核戦争後の地球第2部地球凍結 (大阪府内のみ貸し出し)	V-34	30分 カラー	全面核戦争がおこったら、あなたはどうなるか、そして日本は、地球は…。原子爆弾開発後の膨大な研究と100人を越える科学者の協力を得ると共に、最新の映像技術を駆使して、核戦争勃発後の地球と人類の姿を描いた作品。「地球凍結」はその後の地球・放射性降下物と地球凍結による恐怖を描きます。迫真の画面が私たちにとどうしたらよいか、平和の尊さを強く訴えます。
かんからさんしん (大阪府内のみ貸し出し)	V-15 V-24	78分 カラー アニメ	広大な米軍基地をかかえ、実戦さながらの演習が続く現地沖縄から「再び戦争の悲劇をくりかえしてはならない」という思いがわきおこりました。その思いをうけとめ、沖縄県民の全面的な協力を得て完成しました。そして、沖縄戦を真正面から描きながら「いかに死んだか」ではなく「いかに生きたか」を「かんからさんしん」に託して語りかけます。
消えさらぬ傷あと火の海・大阪	V-9 DVD-4	20分 カラー アニメ	1945年(昭和20)、無差別の大阪空襲の中、逃げまどう人。多くの尊い命が奪われた。その中で幸子も焼夷弾の破片によって右腕を切り裂かれた。平和を願う子どもたちに、戦争体験者の声と実話をもとに、戦争の恐ろしさをアニメーションで描き、人の命と平和の大切さを訴えた作品です。
キクちゃんとおオカミ	DVD-13	45分 カラー アニメ	満州からのつらい引揚げのとき、家族と離れた、幼いキクちゃんを救ったのは1匹のオオカミでした。「野坂昭如戦争童話集」
黒い雨にうたれて	V-52	90分 カラー アニメ	被爆直後の広島に、放射能をたっぷり含んだ黒い雨が降り注いだ。その死の灰の影響は二世、三世にまで及び、今日なおおの影を生き証人たちの背後に投げかけている。アニメ映画「はだしのゲン」で、真の平和を訴えた中沢啓治が、再び制作に取り組んだ長編アニメの佳作。声の出演に西城秀樹など豪華キャストを配し、喜多郎の音楽が感動を盛り上げる。
クロがいた夏	V-41	80分 カラー アニメ	ある日伸子は、カラスに襲われている親子のネコに出会います。思わず助けにはいったのですが、お母さんネコは死んでしまいました。子ネコを連れ帰った伸子ですが、お父さんは許してくれません。でも伸子には、子ネコを捨てるのができません。子ネコのお母さんから預かった生命なのですから。やっとお父さんが認めるようになってからは、もっと大変でした。なにしろ戦争中だったので人間の食べるものさえ手に入りにくい時代だったのです。クロと名付けた子ネコのおかげで家族の毎日は、それまでの2倍、3倍にも楽しい毎日になりました。でも、ある日突然に……。
原爆ドーム物語	V-17	15分 カラー アニメ	<原爆ドーム>の誕生から現在にいたるまでの物語形式により、原爆被害の惨状を織りこみながら、ドームが見つめてきた戦争と平和を描いています。また、平和を考えるための具体的なアプローチとなるアニメーションビデオでもあります。
さくら隊散る	DVD-24	112分 カラー	第二次世界大戦中、演劇、映画などを挙国一致の体制化に置くべく、日本移動演劇連盟が結成された。その移動演劇隊「櫻隊」が広島巡演中に被爆し、非業の死を遂げた若き演劇人たちの悲劇の実話を取材したドキュメンタリー。
十六地蔵物語 ―戦争の犠牲になった子どもたち―	V-10 DVD-5	27分 カラー アニメ	終戦の1年前の1944年(昭和19)9月、大阪市の南恩加島国民学校の3、4年生が徳島県真光町に集団疎開をしました。国内各地に空襲が始まり、国は将来の兵士を確保するためとして、国民学校(小学校)3年から6年生の子どもたちを疎開させることを、国の政策としたからです。学童疎開に行き、犠牲となった子どもたちの姿を通して、戦争の悲惨さについて考えるアニメ作品です。
証言・私の戦争体験-第2集-	V-13	60分 カラー	1945年(昭和20)8月15日が遠くなればなるほど、戦争体験を語る人の数が減っていく一方で、戦争を知らない大人や子どもが増え、戦争体験の風化が指摘されています。戦争体験者が語る真実の声を聞くことによって、より身近に戦争をとらえ、そこから今の時代に生きる意味を考えてほしいと思います。
証言・私の戦争体験-第3集-	V-14	60分 カラー	1945年(昭和20)8月15日が遠くなればなるほど、戦争体験を語る人の数が減っていく一方で、戦争を知らない大人や子どもが増え、戦争体験の風化が指摘されています。戦争体験者が語る真実の声を聞くことによって、より身近に戦争をとらえ、そこから今の時代に生きる意味を考えてほしいと思います。
焦土と化した大阪	V-11	27分 カラー	1944年(昭和19)12月から終戦の前日まで、大阪は50数回の空襲で、街は焦土と化しました。終戦の翌年の4月から5月にかけて、アメリカ軍が撮影した貴重なフィルムをビデオに編集したものです。
地雷を踏んだ象[モータラ物語]	V-47	24分 カラー	“ゾウが地雷の犠牲になった！”このニュースはタイの人びとに衝撃を与えました。タイの人びとにとって象は、“神の使い”であり“深い絆”で結ばれた、かけがえのない動物です。1999年夏、タイとミャンマーの国境で地雷を踏み、左の前足首を失ってしまった雌のアジア象・モータラ。“モータラ”とは“緑の女(ひと)”の意味。“もう一度、自由に森の中を歩けるようにしてあげたい……！”モータラの飼主で、森と一緒に木材を運搬する仕事をしているソムワン君も本当に心配そうです。「ボクの兄弟なんだ……」地雷を踏んで2週間後、タイにある世界で初めてできた象病院で、モータラの手術が始まりました。病院には村人やお坊さん、子どもたちも詰めかけています。体重3トンのモータラを吊り上げるためにつくられた特大の手術台、その上のモータラには70人分の麻酔薬が射たれています。象のように大きな動物に全身麻酔をかけて手術を行うのは、世界でも初めて。大変難しい手術です。果たしてモータラは……。
白い町ヒロシマ	V-48	105分 カラー	学童疎開中に広島原爆で、母と姉・弟を失った作者の実体験を描いた同名児童文学を映画化。1945(昭和20)年、主人公靖子は家族と離れ学童疎開へ。8月6日、広島へ原爆投下。一瞬にして疎開先の子もたちは家族を失った。そして子どもたちに真実をどう伝えるか苦悩する教師たち。主人公の家庭が、戦争と原爆によって壊されていく過程を描くことによって、命の尊さを訴える。
しんちゃんのさんりんしゃ	V-21	24分 カラー アニメ	伸ちゃんと君ちゃんはいの仲良しです。三輪車の絵本をみてはたのしくあそんでいましたが、君ちゃんのお父さんが戦争で死んでからはあそびなくなり、ひとりぼっちになった伸ちゃんでしたが、兵隊にいくことになったおじさんが三輪車をもってきてくれました。伸ちゃんはおおよろこびで「君ちゃん、さんりんしゃだよー」とさっそく君ちゃんの家に行くと君ちゃんは「いいねえ」といって、またなかよくあそびはじめました。伸ちゃんは、君ちゃんと三輪車で水の上をはしったり空をとんだりする夢をみました。8月6日朝も、二人はあそびにでかけましたが……。

題名	分類番	所要時間	内容
世界ウルルン滞在記 戦場で傷ついた子どもたち	DVD-25	97分 カラ	ドイツ国際平和村は、世界各地で続く紛争や内戦で傷ついた子どもたちを受け入れ、治療を施し、これまでに54カ国2万8000人の幼い命を救ってきた。その10年間の記録映像。
戦争-子どもたちの遺言-	V-29 V-32	53分 カラ	戦争の最大の犠牲者はいつも子どもたちだった。死んでいった子どもたちの声が、叫び声が聞こえないだろうか？ 広島・長崎の、東京の、そしてアウシュビッツの子どもたちのあの声が。
戦争は世界でどう語りつがれているか	V-3	30分 カラ	第2次世界大戦から半世紀、戦争はいま、世界でどう語り継がれているのでしょうか。世界の平和ミュージアムをいくつか訪ねてみました。
戦中・戦後昭和の暮らし①	V-43	45分 モノクロ	「銃後憂ひなし第一篇」昭和14年「銃後憂ひなし第二篇」昭和14年「名古屋銃後便り春の巻」昭和16年
戦中・戦後昭和の暮らし②	V-44	50分 モノクロ	「燈火管制」昭和15年「防空消防」昭和17年
戦中・戦後昭和の暮らし③	V-45	44分 モノクロ	「工場鉱山の防空」昭和14年「燃えない都市」昭和13年
戦中・戦後昭和の暮らし④	V-46	47分 モノクロ	「家計の数学」昭和21年「日本敗れたれど」昭和24年
戦場に行く ①民族紛争の真実	V-55	20分 カラ	かつてユーゴスラビアといわれた国の一部である、ボスニア・ヘルツェゴビナの内戦を1933年2月～1995年10月にわたり取材。
戦場に行く ②日本人が見た国連・PKO	V-56	20分 カラ	国連のソマリアでの1992年4月から1995年3月の平和維持活動を1993年7月に現地取材した記録。
戦場に行く ③闘う少年兵たち	V-57	20分 カラ	今現在、世界の戦場で闘っている子どもたちは約30万人。戦争で親を失い、生きる術を求めて入隊した6歳から14歳までの子どもたちで、武器の小型化、軽量化が、少年兵の年齢を引き下げているというのが現実です。
体験者が語る空襲の証言	V-38 V-39 DVD-6	33分 カラ	1945(昭和20)年3月13日の深夜から翌日未明にかけての大空襲で大阪市中心部は火の海となりました。大阪の町は、終戦前日の8月14日まで合わせて50回以上の空襲を受けました。2004(平成16)年3月13日、空襲体験画特別展の開催にあわせて、この悲惨な体験と戦争の実相を次の世代へ語り継ぎ、空襲で亡くなられた犠牲者を追悼するとともに、二度と戦争のない平和な世界を築くために私たち一人ひとりができることは何かを考える機会となることを願って、講演、体験画のスライド上映、体験証言の催しを開催しました。この催しでの体験証言のようをビデオに収録しました。*体験画もあわせてご利用いただけます。(貸出資料一覧の「パネル」のページ参照)
大空襲証言者セット(5本)	DVD-12 V-51	約3時間 カラ	大阪大空襲の体験者たちの証言が集められた作品。5巻セット。
ちいちゃんのかげおくり	DVD-26 A-41	17分 カラ	空襲のさ中、家族とはぐれてしまった少女が、やがて死んでいく自分の姿を通して、戦争のもたらす悲惨さを訴えます。 原作・あまみきこの童話のアニメーションです。
チョッチャン物語	DVD-8	80分 カラ	黒柳徹子さんの母親で、チョッチャンこと黒柳朝さんの自叙伝をもとに、戦争の時代を家族のきずなを大切に「平和の大切さ」「生命の尊さ」を感動的に描いた作品。
対馬丸-さようなら沖繩-	V-22	75分 カラ アニメ	1944年(昭和19)夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖繩の子どもたちを学童疎開させる命令を出しました。子どもたちは大人の心配をよそに「本土で雪が見られる」などはしゃぎます。疎開船「対馬丸」は8月21日那覇を出航。22日夜、米潜水艦の魚雷攻撃を受け、多くの子どもたちが対馬丸とともに一瞬のうちに沈んでしまいます。主人公キヨシの運命は…。
天に焼かれる一絵による証言-	V-18	17分 カラ アニメ	原爆に7人の身内を奪われた金崎さんは、歴史の証言者として、被爆後の地獄のような光景を描き続けてきました。血まみれの少年、倒壊した家の前で泣き叫ぶ女性、全身に火傷を負った母と子、そして放射能の恐怖…。原子砂漠と化した市内をさまよい歩きながら、金崎さんが描いたスケッチがいま、絵による証言として鮮烈によりがえります。
トビウオのぼうやはびょうきです	V-23	19分 カラ アニメ	いつも元気で明るいつとびウオのぼうやは、お母さんと空を飛び練習をしていました。サンゴ礁の海の上を飛ぶトビウオの親子。「ぼく、とんだ、とんだ!!」と大喜びのトビウオのぼうや。その時、突然火の玉のような大爆発がおこり、海の底はめっちゃめちゃになりました。友達に死に、トビウオのぼうやのお家もなにかも壊されてしまいました。そして、空から白い灰がいつぱい降ってきたのです。それをかぶってしまったトビウオのぼうやは、病気になるまでたきりになってしまいました。もうお父さんやお母さんと一緒に空を飛ぶことはできないのでしょうか。いったいなぜこんな事になってしまったのでしょうか。
夏服の少女たち ヒロシマ・昭和20年8月6日	V-40	30分 カラ アニメ	1945(昭和20)年8月6日、広島の上空で炸裂した原爆は20万人もの命を奪いました。そしてなんの罪もない多勢の若者たちも原爆の犠牲となったのです。この朝、旧広島県立第一高等女学校一年生220人は学徒動員で市街の建物取り壊し作業に従事中に被爆、全員が亡くなりました。二年生以上の上級生は既に軍需工場に動員されていて不在、一年生は残された最後の労働力として爆心地真近かで作業中だったのです。この一年生が入学した1945(昭和20)年の日本は敗戦目前で物資が極端に不足していました。せっかくあこがれの女学校に入学したものの制服も手に入りません。少女たちは母親たちのお古をほどこして夏用の制服を縫うことにしました。そしてようやく完成した夏服を着た喜びもつかの間、少女たちは8月6日を迎えます。この少女たちのアニメ物語と原爆でボロボロに燃えた少女の夏服を今なお形見として守り続けている年老いた母親たちのドキュメンタリーとを合わせて、忘れることのできない原爆の悲劇を感動的に描きます。
にんげんをかえせ (大阪府内のみ貸し出し)	V-26	20分カラ	10フィート映画運動三部作のうち第一作です。広島・長崎に投下された原爆キノコ雲、原爆投下後、米国戦略爆撃調査団が撮影した広島・長崎市街地のようす、被爆者の姿など当時の惨状を再現。原爆の恐ろしさ、悲惨さを具体的に表現しています。
猫は生きている	V-36	75分 カラ 人形アニメ	1945(昭和20)年3月10日夜、米軍のB29が東京を炎でなめつくしました。昌男の家ではお母さんが妹2人を連れて外へ飛び出しますが、すでにあたりは火の海。軒下に住みついていたら猫の家族も、母猫「稲妻」を先頭に必死の避難を始めます。戦火の中、昌男は、そしてやさしいお母さんは…。猫の「稲妻」の家族は助かるのでしょうか。

題名	分類番	所要時間	内容
はだしのゲン	V-49	90分 カラー アニメ	広島での被爆体験をテーマにした同名の劇画を基に製作されたアニメ。太平洋戦争中の広島で中沢家の人々の生活を中心に始まる。戦争反対を叫びつづけるゲンの父親は軍部から拷問や弾圧をうけ、そのためゲンの一家も非国民呼ばわりされるが、みんなで力をあわせ、明るく楽しい家庭をつくっていた。そんな家庭も8月6日の原爆投下によって一瞬に破壊されてしまう。父、姉、弟を失ったゲンは、残された母親と廃墟の広島で力強く生きようと誓う。
はだしのゲン2	V-50	90分 カラー アニメ	原作者の中沢啓治が私財をなげうって製作した長編アニメ「はだしのゲン」の続編。本作「はだしのゲン2」では、小学校4年生に成長したゲンを中心に、廃墟の広島で原爆孤児たちが、それぞれの悲しみと苦しみを乗り越えて元気に生き抜いている姿が描かれ、観る人の心をゆさぶる。ラストの、母が原爆症に倒れて背負っていくシーンでのゲンの叫びは、子どもだけでなく大人にも力強いメッセージとなっている。
氷雪の門 樺太1945年夏	DVD-27	119分 カラー	昭和20年8月玉音放送後の樺太を舞台とした、「北のひめゆり」の感動の実話。ソ連軍の侵攻が迫る中、最後まで電話交換手業務を続けた、真岡郵便電信局の電話交換手9人の乙女の悲劇を描く。
ヒロシマに一番電車が走った	DVD-11	32分 カラー アニメ	戦地に召集された男たちに代わり、広島の路面電車は10代の少女たちが動かしていた。一瞬のうちに「死の街」と化した広島に電車が走り始めた。被爆体験の手記をもとにしてつくられた作品。
ふたつの胡桃	DVD-15	45分 カラー	東京に住む小学生彩花。目覚めると、そこは60年前の空襲の絶えない世界でした。「野坂昭如戦争童話集」
ぼくのいる街	V-31	23分 カラー	太平洋戦争末期の1945(昭和20)年1月の空襲で死んだひとりの少年が、現在の繁栄する銀座に現れ、かつての自分の家、遊んだ場所、自分の死んだ場所、母親が空襲で死んだ場所をさまよひ歩きます。
ぼくの防空壕	DVD-14	45分 カラー アニメ	お父さんと造った防空壕。そこは戦場にいったお父さんに会える唯一の場所でした。「野坂昭如戦争童話集」
火垂るの墓(実写映画版)	V-59	100分 カラー	1945(昭和20)年の神戸空襲で、母親を失って、2人きりになってしまった兄妹。一度は親戚の家に世話になりませんがなじめず、2人横穴で生活を始めます。楽しくスタートした2人の生活でしたが――。
北極のナヌ-	DVD-9	84分 カラー	地球温暖化の過酷な環境の変化の中の北極そこで生まれた白くまのナヌ-が、母と別れ、苦難をのりこえ、けん命に生きていく姿を描いたドキュメンタリー・ドラマ。
未来をください -戦火の中の子どもたち-	V-60	28分 カラー	今も繰り返される大人たちの争いに巻き込まれて、親や家を、ときには国を失い、教育の機会さえも奪われた子どもたちは、未来を考えることすらできない状況におかれています。みなさんもいっしょに考えてください。
焼跡の、お菓子の木	DVD-16	45分 カラー アニメ	太平洋戦争の終盤のころ、家をなくし、いつもおなかを減らしていた太一。「パンの木」があると聞いたが。「野坂昭如戦争童話集」
ヤヌシュ・コルチャック -すべてをこどものために-	V-42	51分 モノクロ	裕福なポーランド系ユダヤ人の家に生まれながら、その生涯を孤児救済とこどもの教育に捧げたヤヌシュ・コルチャック。反ユダヤ主義の波が全ヨーロッパに広がる時代の中、ポーランド人孤児院とユダヤ人孤児院のふたつの施設を作り、数々の教育書、研究書、童話、戯曲、新聞、ラジオ放送を通してこどもたちの福祉と権利を訴え、自らユダヤ孤児二百余名に同行してプリンク絶滅収容所で非業の死をとげます。ナチスドイツによって撮影された映像(ゲットが非常に環境の良い居住区として捉えられている・・・写された真実とは何なのか?)、ゲットを生き延びたコルチャックの教え子たちの証言を交えた貴重な映像が全編を貫きます。すべてをこどものために捧げたヤヌシュ・コルチャックの全人生を丹念に記録したこのドキュメンタリーは、見るものの心を揺さぶるにはおきません。
予言 (大阪府内のみ貸し出し)	V-27	42分 カラー	10フィート映画運動三部作のうち第二作です。米国立公文書館から購入した、戦略爆撃調査団の8万5千フィートのフィルムの他、ネバダの原爆実験、核兵器の威力テストの記録フィルムに、原爆症に苦しむ被爆者の現状を交錯させて構成しています。
よみがえれ命の歌声	V-53	22分 カラー	第2次世界大戦のさなか、ユダヤ人強制収容所に誓った子供たちのオペラ。
李香蘭	DVD-17	139分 カラー	戦乱の日本と満州国で軍に利用され、戦後は祖国反逆者として、裁かれた実在の「歌姫李香蘭」の流転の人生を描く。
歴史-核狂乱の時代-	V-28	116分 カラー	10フィート映画運動総集編。原爆製造マンハッタン計画を紹介しつつ、第2次世界大戦からベトナム戦争を経て、今日のMX、パーシングII、SS20の配備の実態をえぐり、同時に日・米・南太平洋の被爆者の苦しみ、怒り、そして行動を描きだします。